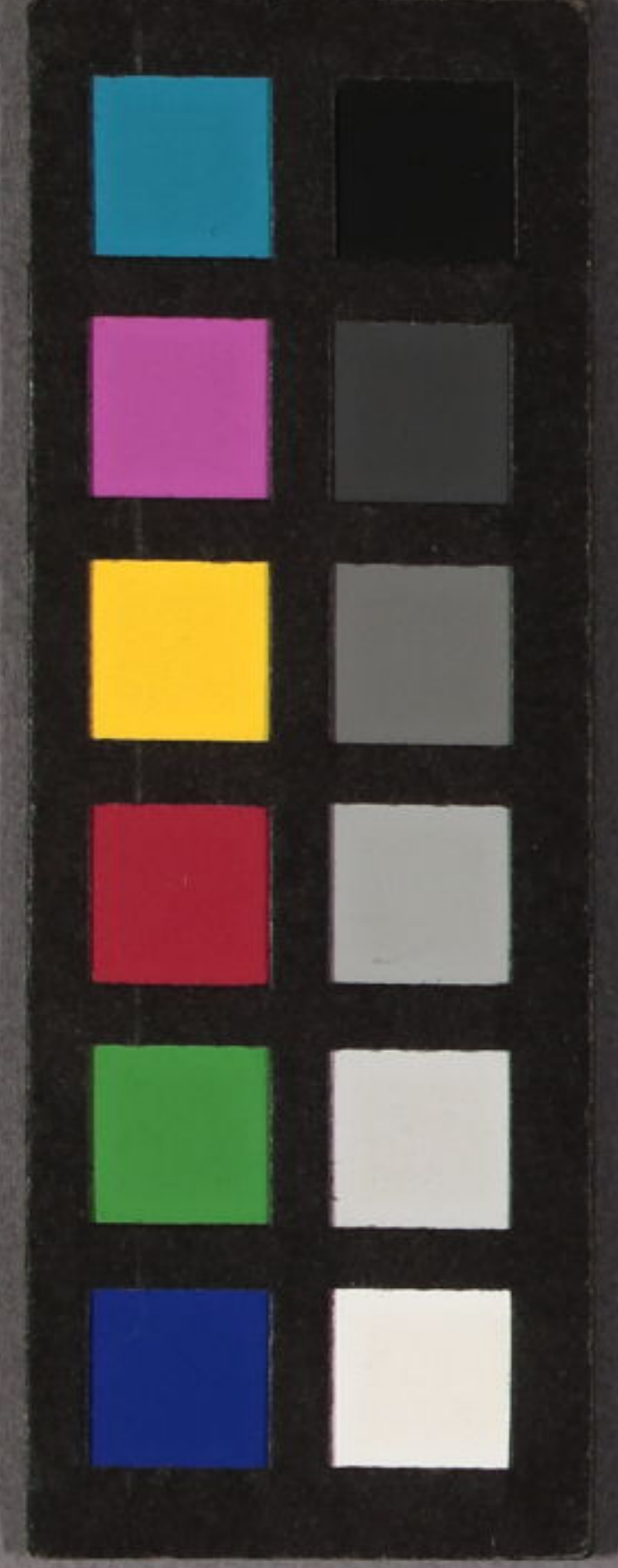


續猿蓑毛十二編 下
廿五



^ 13
3286
43止



門 へ 13
號 3286
卷 43

明治十六年二月十一日
尾野實共

本清

續 藤原毛十二編

下冊

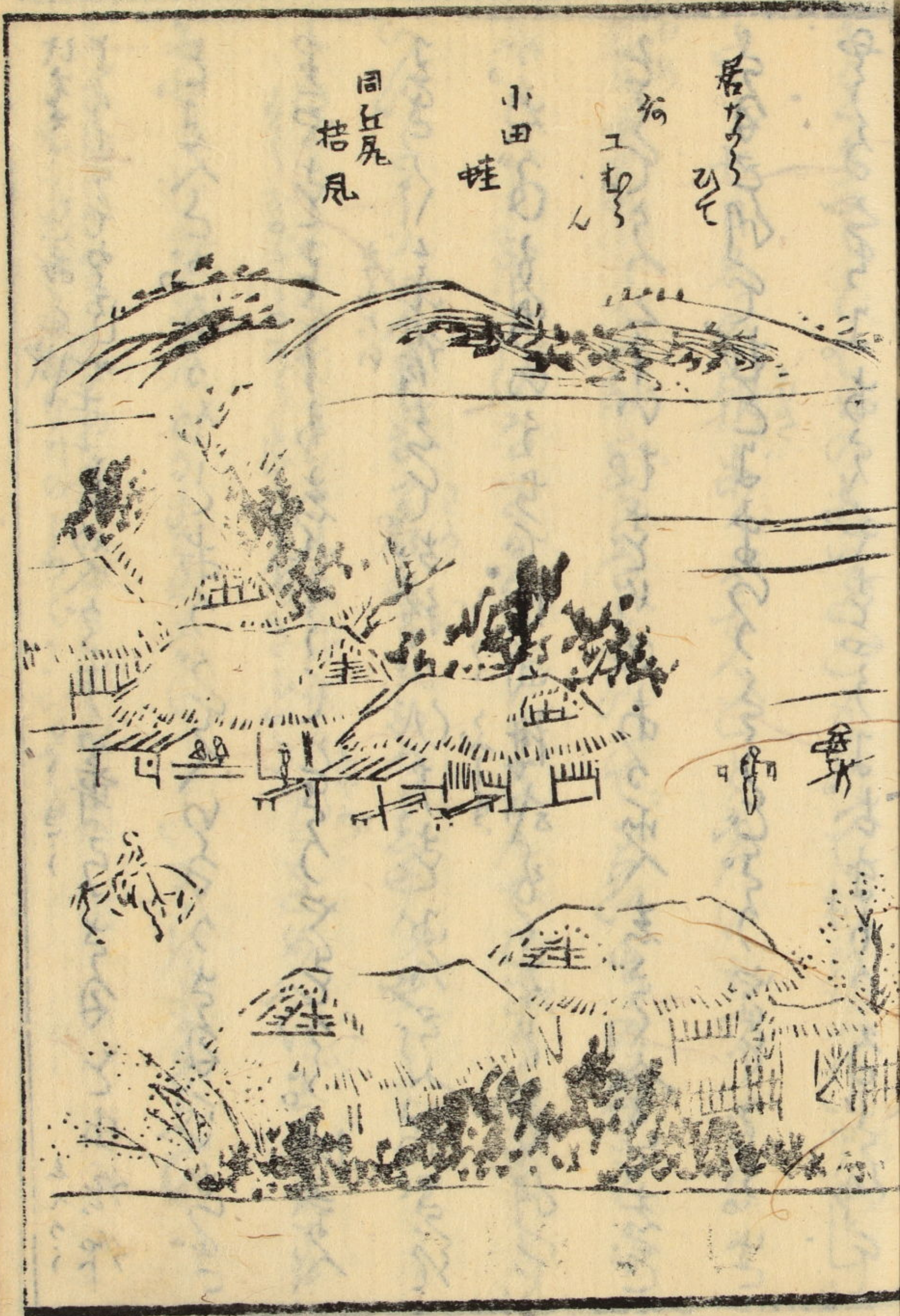
助御馬の勢まけくま洋やうきまままくま松まつよよひひぎぎふふらら八月はつげつととめ

ててああままりりででららるるよよ泉いづみ内うちかかたたやや其その六むままをを度たぎ又またそそのの入いり船ふね版ばんも

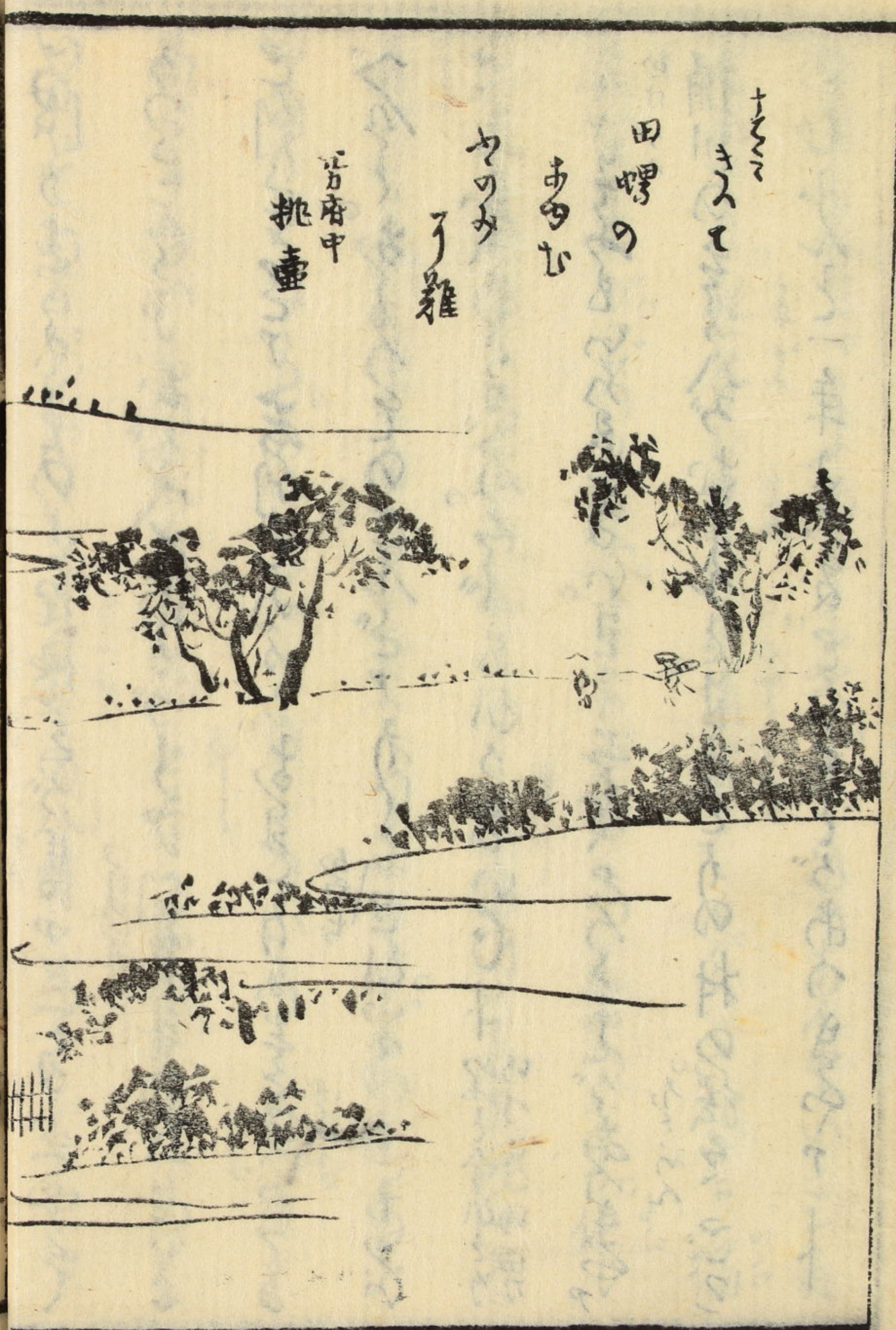
いいててままささららめめららるるががままささハハたたららるるままもも。 旋まわるるのの曲まがるるららににバ

ままりりぐぐひひちちららううてて。 つつららままかかららううをを船ふねハハええききももるるににおおじ

ささ。 ささららににもも富とみののああらら。 ままののごごくくみみややああわわひひららんん産うぶままへ
ああままりりてて。 あまの女ままににゆゆかかららひひよよんんとととと。 ああらら。 ささららににままりりはは
かかららづづららひひるるささららままりりとと。 るるええああらら。 そそののおおははららううででら



居たうら
ひて
何
エむら
ん
小田
蛙
同丘尾
桔風



十とて
きんて
田螺の
あひむ
やのみ
了羅
正府中
挑壺

ちやア。姓あるうらまの^代ヨノをさうぶらめ。面^名はあらるが

あつものつイヤあらるぶやア。い矢持のまけがさく^{えん}

るつこ^代あらるも。あつもの鼻ともがまこと^ま。不^まゆる

るつ移入く。トまこむやがうつ^ま。あつものあつもの

つま^ま。あつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの

あつものあつものあつものあつものあつものあつもの





あやゆ
あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

あやゆ
あやゆ

白須賀東江亭



播州高砂
蒲原早出

雲日
山
冬毛も
足毛も
長保
さき
かきまの
幕
夾の
陣



備田山
白陽舎

紙々
の
の
春の
日
身
の
の
青
柳

伊丹
酒樽



鳥羽
雨足



道の
 左の
 右の
 前の
 旅を
 する
 中
 着
 九



スルカ
 府中
 着
 九



